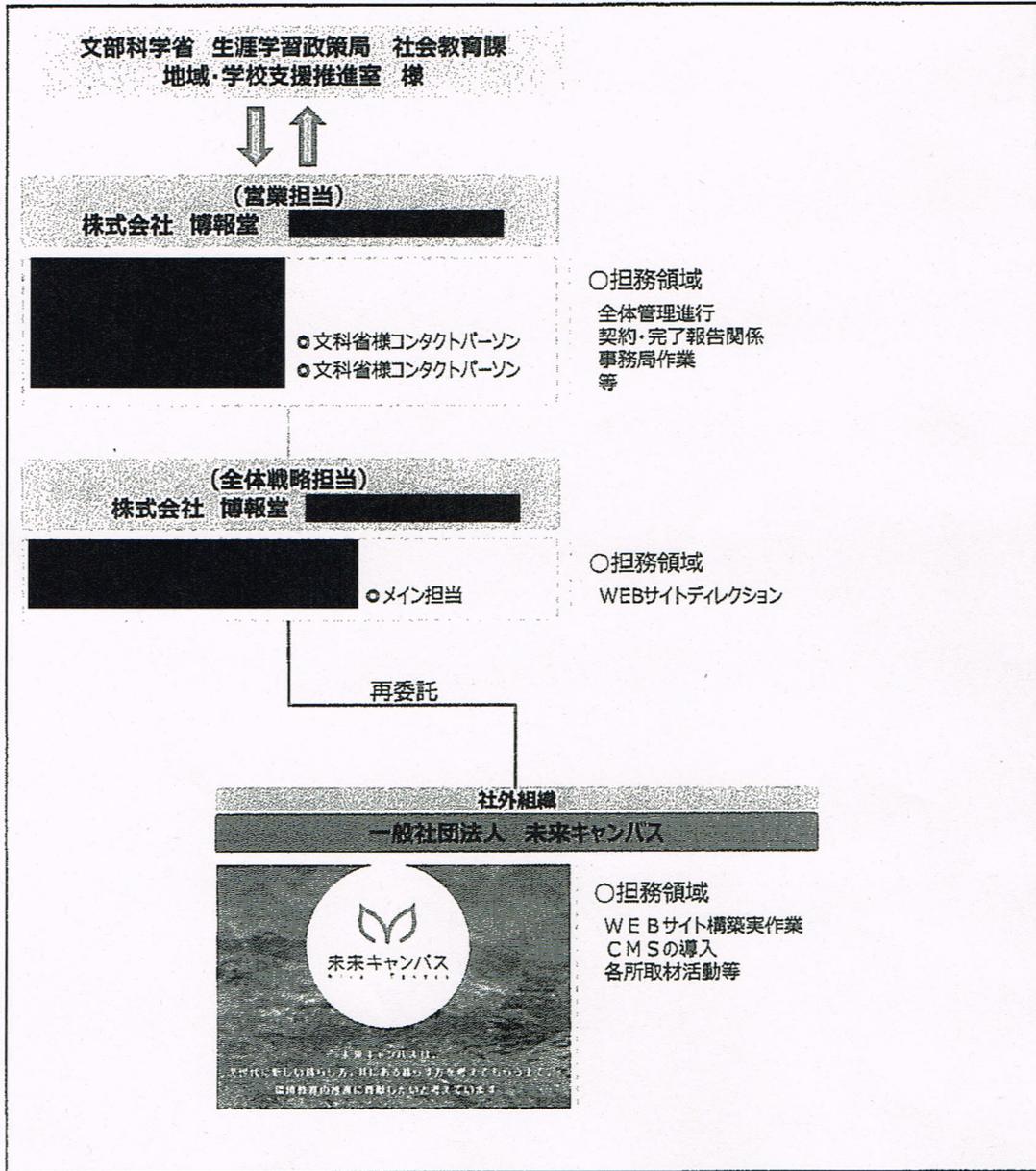




3. 事業の実施体制（再委託先まで含めた事業実施体制について図示すること。）

※必ずしも様式に収める必要はないので、詳細に記載すること（別紙を添付することも可）。



4. 実証研究のスケジュール

業務項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンテンツ棚卸	←→							
CMS導入・検証	←→							
ロゴマーク作成		←→						
既存事例等情報化		←→						
WEBページデザイン		←→						
WEBページ実制作			←→					
WEBページ検証、微修正						←→		

## 5. 実証研究の実施内容及び実施方法等

※必ずしも様式に収める必要はないので、詳細に記載すること（別紙を添付することも可）。

土曜の教育活動や学校支援地域本部、放課後子供教室の取組を効果的に発信するための広報手法（ホームページ）を開発し、主に土曜学習に関心のある自治体や、学校等に向け、文部科学省の施策紹介、「土曜学習応援団」として賛同している企業・団体等の紹介、好事例（出前授業等）の掲載等を行った。

そのためのホームページでの施策の概略は以下の通り。

### ①トップページ大型バナー

どなたにも視認しやすく、関心を持ちやすい巨大な写真・イラストをトップに配置。

CMSで事前に設定した写真をスクロールすることが可能とした。

### ②検索システム

閲覧者がホームページに訪れた際に、容易に検索できるよう、上部に検索システムを配置した。

### ③お知らせ

閲覧者の目に留まりやすい、ホームページ上部にお知らせ欄を配置。

### ④レポート

お知らせの下にレポートを配置することで、効果的な情報発信が可能にあるようにした。

### ⑤学習プログラム

ホームページ中段で、写真やカラフルなバナーを配置し、ニュース風にするすることで、閲覧者が関心を持ちやすくした。

### ⑥活用ガイド

ホームページ下部に大きく配置、初めて閲覧する方対しても操作性の向上に努めた。

### ⑦スマートフォン閲覧者への対応

昨今の通信デバイス活用の変化を鑑み、スマートフォン閲覧者のためのスマートフォン用への最適化を行った。

### ⑧ロゴマーク設置による親近性・視認性の向上

従来になかったロゴマークをホームページに設置することにより、視認性の向上とともに親近感。インパクトの醸成に努めた。

## 6. 実証研究で得られた成果

※必ずしも様式に収める必要はないので、詳細に記載すること（別紙を添付することも可）。

①ホームページ上で、土曜学習応援団と自治体・学校それぞれのニーズのマッチングが促進されるような構成をすることができた。（検索機能の付加等）

応援団賛同企業・団体を地域別・業種別で仕分けし、応援団紹介ページにて検索できるようにした。賛同企業・団体が行っているプログラムを「教科」「学習テーマ」「開催可能時期」等の様々な視点から閲覧できるようにプログラムを内容・デザインともに再構成した。

②「お知らせ」「レポート」の構成により、直近のプログラムや土曜フェスタのが告知が容易になるようにした。

③CMSの導入により、次年度以降も文部科学省様にて内容の更新がスムーズになるよう構築した。

CMSで、使いやすくカスタマイズしやすいWordPressを導入し、誰にでもわかりやすく簡易的なマニュアルで使いこなせるような仕様にした。

④スマートフォンへの対応・最適化

年々、スマートフォンの利用者は増加しており、平成26年の総務省のデータでは、日本でのスマートフォン普及率は5割強。そのため、スマートフォンへの対応も同時に行った。

⑤ホームページデータの数値を可視化

PV（ページビュー）数、訪問数、ユニークユーザー数など、ホームページに関するデータを数値化するシステムを導入。（グーグルアナリティクスなど）ページごとのアクセス数を把握するなど、様々な数値を見ることができ、どのページやコーナーにユーザーの注目が集まっているのかを知ることができようにした。可視化したデータや、多くの情報をホームページ改善に今後活用できる。